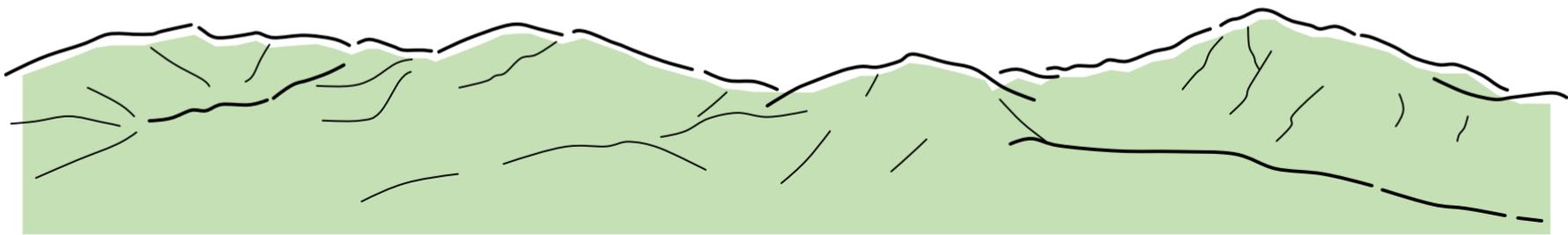




丹沢が育む自然の恵みと  
人々が守り伝える水環境

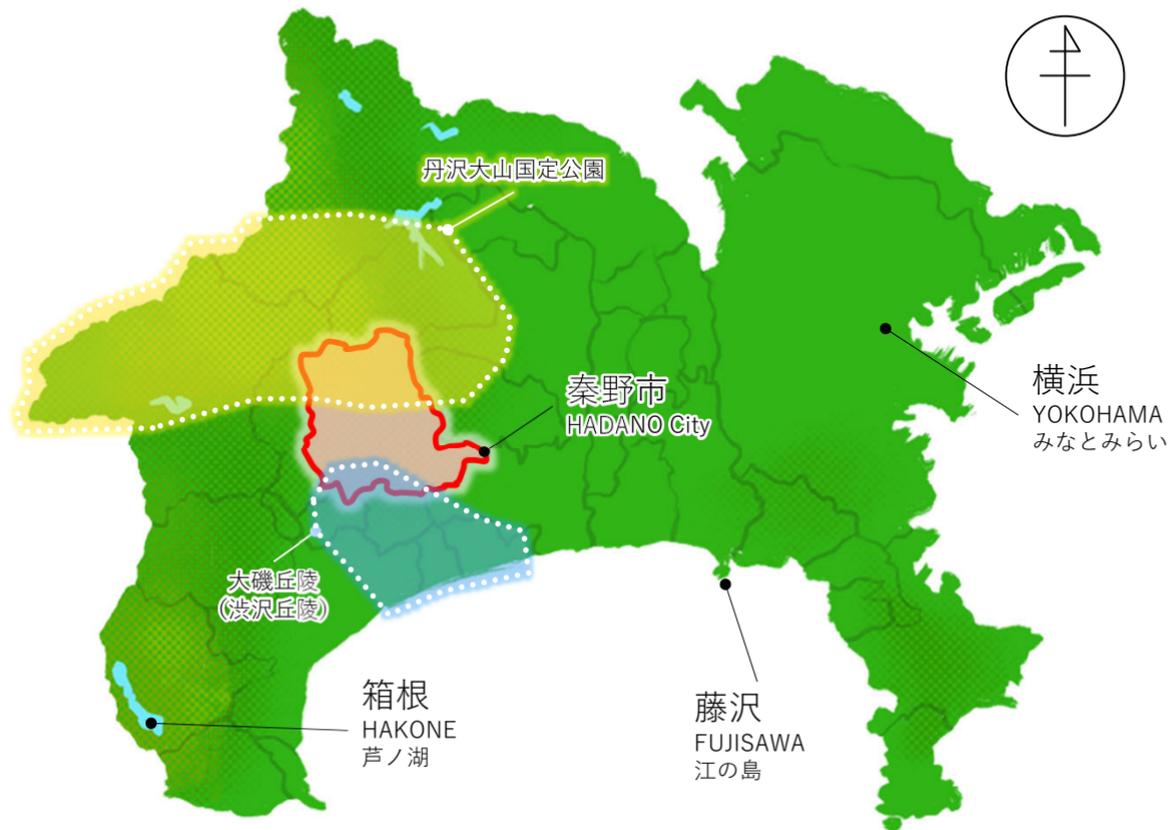
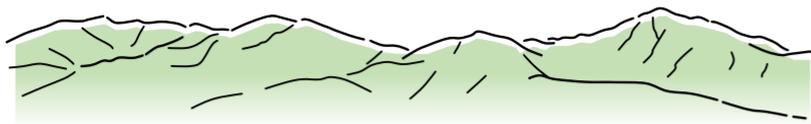
神奈川県秦野市  
～名水というのには訳がある～



1

# 秦野市の概要

～都市近郊の森林観光都市～



1

# 秦野市の概要

～都市近郊の森林観光都市～

- 神奈川県西部に位置する人口約 **16** 万人の市
- 市域 (103.76㎡) の約 **1/2** を**山林**が占める
- 北側を「神奈川の屋根」**丹沢山地**、  
南側を**渋沢(大磯)丘陵**に囲まれる  
県内唯一の典型的な**盆地地形**
- 市域北部は丹沢山地の**鍋割山**、**塔ノ岳**、  
**大山(阿夫利山)**の山頂を結ぶ稜線となり、  
丹沢登山の玄関口として親しまれる



2

## 秦野市の水辺環境

～丹沢山地が育む「名水の里」～

■ 市内には相模湾に注ぐ**酒匂川水系**と

**金目川水系**の河川が5つあり、

**複合扇状地**を形成している

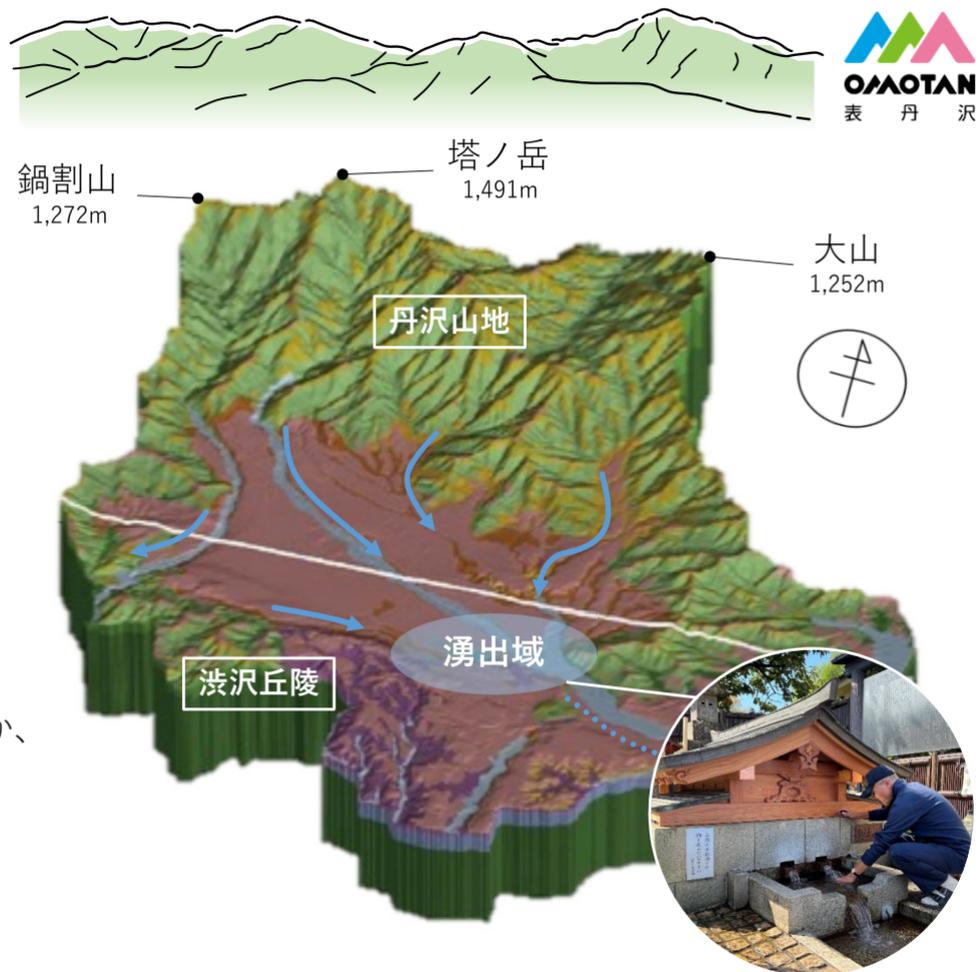
■ 石や砂が堆積した**天然の水がめ**と呼ばれ、

山地に降った雨は盆地の地下に蓄えられる

この地下水は**水道水源**として活用されるほか、

市内各所で湧出し**秦野盆地湧水群**となる

(昭和60年「名水百選」選定)





- 地下構造は大きく

**浅部** (地下100m) と **深部** (地下480m)、

2つの**帯水層**に分かれ、

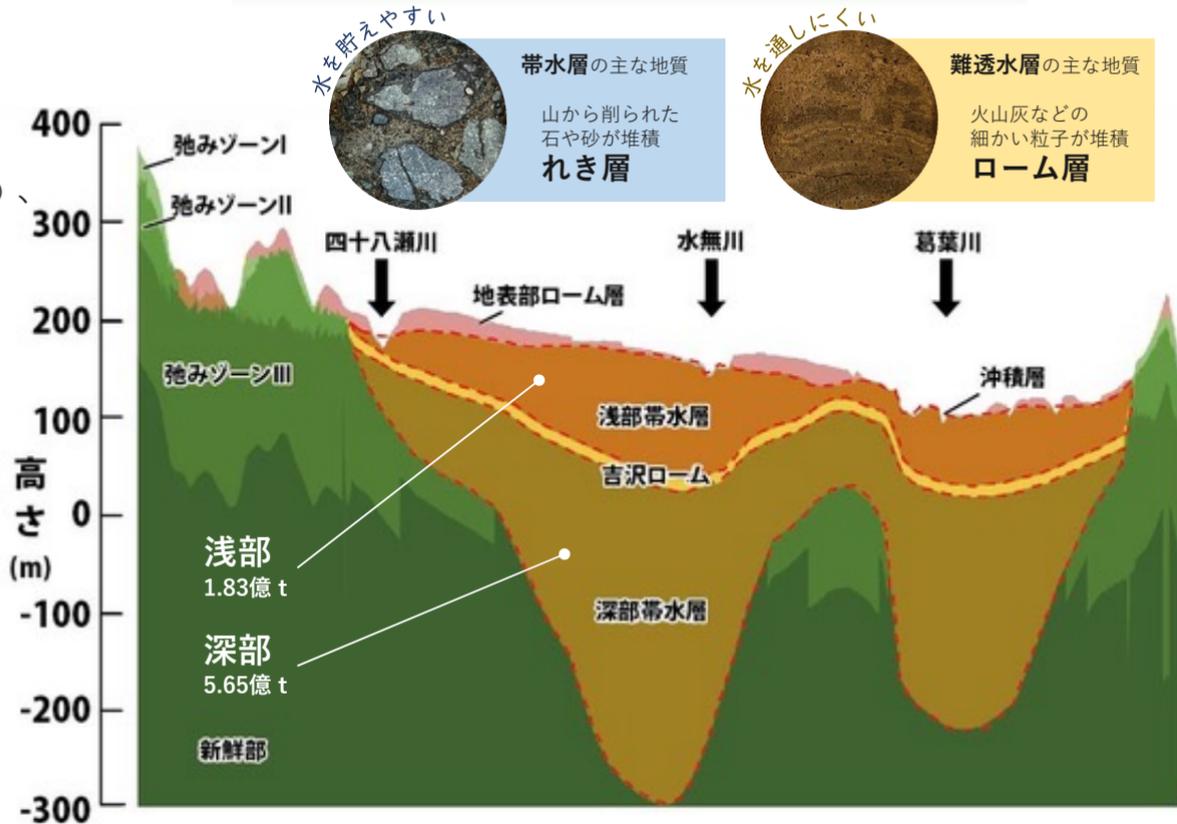
その間には**難透水層**がある

- 2つの帯水層を合わせて、

**約7億5千万トン**の

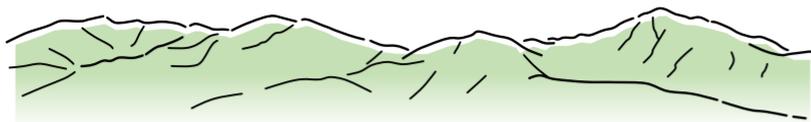
地下水賦存量が推定されている

(箱根芦ノ湖の約**4**倍の水量)



# 水源環境保全の取組み①

～地下水調査・地下水涵養対策～



昭和  
**40**年代  
1970年頃

工場等の進出により  
**水需要の増大**



**契機**

**地下水位低下、井戸枯れ**



地下水は**市民共有**にして  
**有限な財産**である。



## 地下水調査

- ・ 地下水流動の解明
- ・ 涵養施策の実験



## 涵養施策

- ・ 水源林整備
- ・ 水田涵養、注入井戸



## 地下水利用協力金

- ・ 地下水利用者が納入  
(現在単価：20円/m<sup>3</sup>)

# 水源環境保全の取組み②

## ～地下水汚染対策・浄化事業～



平成  
**元**  
年  
1989年

有害物質による  
地下水汚染



契機

地下水汚染の報道



## 汚染対策審議会 (平成元年)

専門家等に対する諮問・  
答申



## 条例の制定 (平成6年)

汚染原因者に土壌の浄化  
を義務付ける国内初の条例



## 地下水浄化事業 (平成9年～)

「人工透析手法」による  
地下水の浄化・還元

**名水復活宣言** (平成16年)

# 水源環境保全の取組み③

～地下水モニタリング事業～



平成  
**19**年  
2007年

神奈川県内における  
水源環境の荒廃、汚染



契機

県水源環境保全税の導入



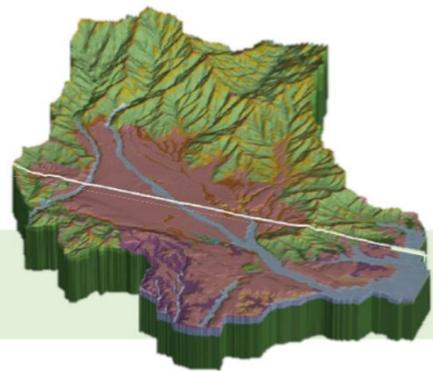
## 地下水観測委託

- ・地下水位観測（25か所）
- ・雨量観測、湧水量測定



## 調査ボーリング

- ・オールコアボーリング
- ・地質構造の解析

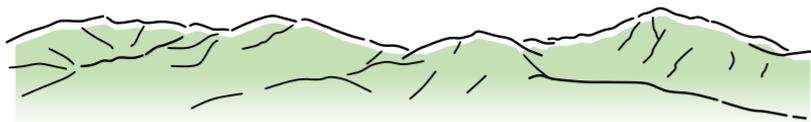


## はだの水循環モデル

- ・3Dモデルの作成
- ・将来シミュレーション

6

秦野名水の「訳」とは  
～恵まれた自然と人々の取組み～



みどり豊かな丹沢山地と  
天然の水がめ

先人たちが取り組んだ  
地下水の「量」と「質」の保全



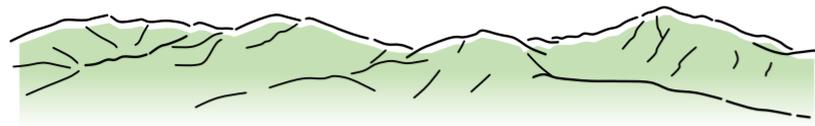
秦野名水ロゴマーク

商標登録第5801251号

健全で持続可能な水循環の創造

7

名水サミット in はだの  
～名水というのには訳がある～



第39回全国水環境保全市町村  
連絡協議会全国大会

名水サミット  
in はだの  
2025.11.8  
開催決定

Time	Content
13:35～	名水紹介① (秦野名水名人講) 丹沢が育む名水百選「秦野盆地湧水群」の魅力をご紹介。
13:50～	名水紹介② (秦野市環境共生課) 先人たちが取り組んだ秦野盆地の地下水を守る施策の概要をご紹介。
14:10～	基調講演① 平塚市博物館 野崎 篤 学芸員 内容：秦野盆地の地形と成り立ち
14:30～	基調講演② 神奈川県温泉地学研究所 宮下 雄次 所長 内容：秦野盆地の水収支、地下水保全施策
14:50～	基調講演③ 横浜国立大学大学院 小林 剛 教授 内容：秦野市の地下水汚染対策、浄化事業
15:10～	基調講演④ 大阪公立大学 遠藤 崇浩 教授 内容：地下水保全に係る法整備、地下水ガバナンス
15:30～	基調講演⑤ かながわ淡水魚復元研究会 勝呂 尚之 会長 内容：自然生態系、水辺環境保全、湧水に生息する貴重な生き物
15:55～	パネルディスカッション 県西部の自治体を交えて「名水の訳」についてディスカッション